

平成 24 年第 4 回市議会定例会における主な課題と対応
(総務部)

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
・大規模停電が起きた場合の市民周知と災害用備蓄品、資機材の整備について (一般：土井議員)	・市民への周知は的確な情報を広報車や自治会、自主防災組織を通じ周知、市庁舎の電源についてはその対応について検討。 ・防災資機材については、年次ごとに整備、流通備蓄との組み合わせで備えとしていきたい。各家庭においても備蓄の必要性について周知。	同左
・大規模停電に対応するマニュアルの策定 ・自主防災組織の現状と今後について ・停電時市有施設の対応、防災資機材の点検と石油類燃料の確保などについて (一般：土井議員)	・北海道や北電の対応マニュアルを参考に検討。 ・自主防災組織は現在 12 組織、新規設立にもむけ啓発に努める。 ・市有施設の停電時の対応について所管部署や施設管理者と連携し安全確保と日頃からの訓練の実施に努める。備蓄した資機材は定期的に点検を実施。燃料については南空知石油業協同組合と協定締結について打合せ済。(協定 2 月予定)	・停電マニュアルを策定(年度内) ・自主防設立について出前講座、広報紙、ホームページなどで啓発に努める。
・他市では、移住・定住施策として、不動産取得に係る助成制度のほか、若者や子育て世帯等に対する包括的な支援を行っているが、本市の移住・定住施策に関する考え方を伺う。 (一般質問 吉岡議員)	・本市の助成制度では、子育て世帯に対し、20万円の子育て支援加算を付けているが、その他の移住・定住に向けた、若者や子育て世帯等に対する支援制度については、他市の取り組み状況の調査・研究を行い、検討していく。	・三笠市について調査を行い、本市の内容と対比したが、当該事業を実施してまだ 1 年に満たないため、現段階では包括的な支援を含む制度改正の予定はない。
・移住、定住に係る今後の課題は何か。 (一般質問 吉岡議員)	・戸建て住宅を希望される方や 3 名以上で短期滞在される方を受け入れる施設の対応や、さまざまな媒体を通した情報の発信による PR のほか、滞在中のホスピタリティなどを充実させる必要がある。市内の不動産情報の収集に努めるとともに、市のホームページでの情報発信や滞在期間中に市民との交流の場を設けることの検討のほか、各地で行う観光物産展でのパンフレットの配布などの PR を行い、美唄の知名度のアップ、まちの魅力を積極的に発信して参りたい。	・課題については、アパート協会との連携、美唄市移住・定住推進協議会で情報の共有化を図りながら検討していく。また、今後とも関係課と連携を密にして情報発信を積極的に行う。

平成 24 年第 4 回市議会定例会における主な課題と対応

市 民 部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
・生ごみの収集地域の範囲の考え方について 長谷川議員（一般質問）	・農村地域や郊外部の収集については、地域の情報把握や意見を聞きながら検討して参りたい。	・生ごみ堆肥化に伴う分別方法と合わせて、地域説明会を開催する。 (H25年夏以降で・・・)

平成 24 年第 4 回市議会定例会における主な課題と対応

教育委員会

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
教育費における教職員の自己負担の状況について伺う。 (森川議員 一般質問)	<p>予算要望における学校とのヒアリングの中では教職員の自己負担に関しては出されていないところであり、公費として負担すべき予算は措置している。</p> <p>職員団体から予算要望の際に自己負担が生じている旨の報告がある点については、学校として必要なものかどうか、明らかでない状況もあることから、学校での実態を把握するよう指導する。</p>	平成 25 年 1 月 学校の実態調査を実施する。

平成 24 年第 4 回市議会定例会における主な課題と対応

消防 本 部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
消防体制の強化について、今までどのような取り組みをされているか。	消防通信指令施設の更新整備。消防団については、訓練や研修を通じて消防団員の充実強化を進めている	
東日本大震災を踏まえ当市においてどのような消防体制がとられたか。	消火・救助・救急体制の充実はもとより、情報収集・伝達機能の強化等、総合的な消防体制の整備。大規模災害時の応援隊の受け入れ体制の充実。消防団に救助用資機材・救命胴衣・チェンソーを配置し消防体制の強化に努めた。	
老朽化した消防庁舎、消防車両、消火栓の状況と、今後の整備について。 (一般質問 高田議員)	30 年以上経過した建物が 4 箇所、15 年以上経過した車両が 7 台、45 年以上経過した消火栓が 45 基。整備については計画的に整備を進めていく。	